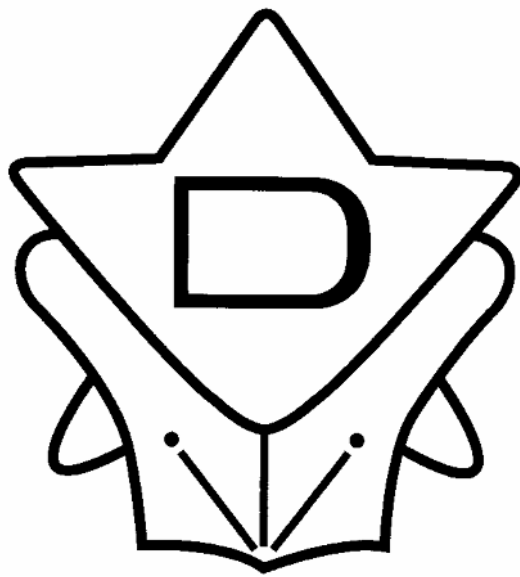


令和8年度

# 学校要覧



沖縄県立 沖縄ろう学校

〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村字屋宜原 415 番地

TEL (098) 932-5475

FAX (098) 932-8248

寄宿舎 (098) 933-3770

## 校訓

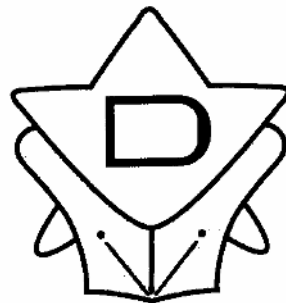
- ・ 豊かなことば
- ・ 強い心
- ・ 健やかな体

## 校歌

作詞 古堅幸雄  
作曲 照屋英治

- 一、  
明るい笑顔に かおるそよ風  
共に手を取り 学ぶ友だち  
みんなで開こう 聞こえの世界  
つどえ 沖繩ろう学校
- 二、  
緑の学園 あふれる若さ  
強く元気に 育つ友だち  
心で語ろう みんなのねがい  
そだて 楽しい我が母校
- 三、  
輝く瞳に わき出る力  
みんな仲よく 進む友だち  
未来を築こう 心と技で  
のびよ 沖繩ろう学校

校章の紹介  
バックの大きい星は  
いつも明るい心を表し  
中の D は  
英語の D E A F (聾) の  
頭文字である。  
発語 (ことば) に自由を  
欠く生徒は  
口のかわりにペンがある。  
下のペン二本が  
それを表している



# 目 次

校訓            校歌            校章の紹介

1	沖縄県立沖縄ろう学校学校沿革概要	1
2	歴代管理職（校長、副校長、教頭、事務長）及びPTA会長一覧	6
3	学校経営	7
4	幼稚部教育課程	10
5	小学部教育課程	13
6	中学部教育課程	16
7	高等部教育課程	20
8	使用教科書一覧、準教科書・副読本等一覧	26
9	週時程表	29
10	寄宿舎運営	33
11	幼児児童生徒数	34
12	市町村別幼児児童生徒数	34
13	聴力の程度	35
14	疾病障害統計	36
15	学級編成	37
16	進路状況	38
17	スクールバス利用児童生徒数一覧及び運行経路図	39
18	校舎配置図	41
19	学校案内図	42

# 1 沖縄県立沖縄ろう学校沿革概要（平成30年度以降）

## 平成30年度

- 4月1日・定期人事異動により 教頭 上運天滋 他25名赴任
- 4月9日・一学期始業式、就任式
- 4月10日・入学式 幼稚部7(1)名 小学部2名 中学部6名 高等部5名
- 7月20日・一学期終業式
- 9月3日・二学期始業式
- 9月27日～28日・九州地区聾学校陸上競技大会（鹿児島大会）
- 10月4日～5日・宿泊学習（小）
- 12月14日・校内駅伝大会
- 12月25日・二学期終業式
- 1月7日・三学期始業式
- 2月3日・第21回学習発表会・文化祭
- 3月4日・第55回高等部卒業式 卒業生5名
- 3月15日・幼稚部第51回幼稚部修了式
- 3月20日・第62回小学部・第57回中学部卒業式（卒業生：小学部2名 中学部2名）
- 3月22日・小、中、高等部修了式・離任式

## 平成31年度

- 4月1日・定期人事異動により 教諭他 14名赴任
- 4月8日・一学期始業式、就任式
- 4月9日・入学式 幼稚部1名 小学部2名 中学部2名 高等部2名
- 4月10日・開校記念集会
- 5月1日・元号が「平成」から「令和」へ改元（1日より）
- 5月24日・高等部、長野ろう学校との交流会
- 5月29日・はなさき分校合同火災避難訓練
- 6月24日～7月5日・高等部前期就業体験学習
- 6月27日・中学部宿泊学習（恩納村～本部町）
- 7月19日・一学期終業式
- 9月2日・二学期始業式
- 9月26日～27日・小学部修学旅行（名護市、本部町、今帰仁村）
- 10月3日～4日・九州地区聾学校陸上競技大会（宮崎大会）
- 10月27日・第43回運動会
- 11月5日～15日・高等部後期就業体験学習
- 12月10日・高等部、真和志高校との交流会
- 12月13日・校内駅伝大会
- 12月25日・二学期終業式
- 1月6日・三学期始業式
- 1月28日～31日・高等部1、2年修学旅行
- 3月9日・第56回高等部卒業式 卒業生5名
- 3月13日・第52回幼稚部修了
- 3月19日・第63回小学部、第58回中学部卒業式（卒業生：小学部2名 中学部3名）
- 3月24日・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日・定期人事異動 校長 幸地 英之 他職員離任

## 令和2年度

- 4月1日・校長 安里 吉実 他職員就任
- 4月7日～5月20日・新型コロナウイルス感染拡大防止対策「学校臨時休業」
- 5月21日・一学期始業式、就任式
- 5月22日・入学式 幼稚部4名 小学部1名 中学部2名 高等部3名
- 8月1日～10日・夏季休業
- 8月12日～23日・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策「学校臨時休業」
- 8月31日・一学期終業式

- 9月1日 ・二学期始業式、台風9号接近により臨時休業
- 12月25日 ・二学期終業式
- 1月6日 ・三学期始業式
- 2月7日 ・第22回学習発表会・文化祭
- 2月25日 ・卒業生を送る会
- 3月8日 ・第57回高等部卒業式 卒業生6名
- 3月12日 ・第53回幼稚部修了
- 3月17日 ・第64回小学部、第59回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部5名）
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 教頭 上運天 滋 他職員離任

### 令和3年度

- 4月1日 ・定期人事異動により 教頭 川満 恵 他26名赴任
- 4月7日 ・一学期始業式、就任式
- 4月8日 ・入学式 幼稚部4名 小学部3名 中学部1名 高等部7名、入舎式
- 4月13日 ・開校記念集会
- 6月7日～20日 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策「学校臨時休業」
- 7月20日 ・一学期終業式
- 7月21日 ・台風6号接近による「暴風警報」発令に伴う臨時休業（高等部のみ）
- 9月1日 ・二学期始業式
- 9月29日 ・沖縄ろう学校・はなさき支援学校 地域合同想定・地震・津波・土砂災害避難訓練
- 10月31日 ・第44回運動会・体育祭 テーマ「走れ！ 飛べ！ 笑え！ その汗が絆を強くする。  
～みんなで力を合わせて完全燃焼～」
- 11月18日～19日 ・小学部修学旅行（名護市、本部町）
- 2月24日 ・二学期終業式
- 1月6日 ・三学期始業式
- 2月24日 ・卒業生を送る会
- 3月4日 ・第58回高等部卒業式 卒業生2名
- 3月9日～14日 ・幼稚部新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため学部閉鎖  
11日の幼稚部修了式は、18日へ延期
- 3月15日 ・第65回小学部、第60回中学部卒業式（卒業生：小学部5名 中学部2名）
- 3月18日 ・第54回幼稚部修了
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 定年退職 校長 安里 吉実 主幹教諭 仲原 美奈子  
事務長 田場 一典 他職員離任

### 令和4年度

- 4月1日 ・定期人事異動により 校長 大城 麻紀子 事務長 比嘉 勝人 他14名赴任
- 4月7日 ・一学期始業式、就任式
- 4月11日 ・入学式 幼稚部7名 中学部2名 高等部2名、入舎式
- 5月21日 ・土曜参観日及びPTA総会
- 7月22日 ・一学期終業式
- 8月31日 ・台風11号接近に伴う臨時休業（高等部3年生のみ）
- 9月1日 ・二学期始業式
- 9月29日～30日 ・第57回九州地区聾学校体育・文化連盟沖縄大会 29日総合開会式、交流会、  
県総合運動公園 30日陸上競技大会、総合閉会式、沖縄市陸上競技場
- 10月6日 ・幼稚部秋の遠足（子どもの国）
- 10月12日～13日 ・小学部宿泊学習（御菓子御殿本店、石川青少年の家、ビオスの丘）
- 11月30日～12月2日 ・中学部修学旅行（福岡県、大分県）
- 12月13日～16日 ・高等部修学旅行（東京都、千葉県）
- 12月23日 ・二学期終業式
- 1月6日 ・三学期始業式
- 2月5日 ・第23回学習発表会・文化祭 テーマ「猪突猛進！沖縄ろう学校の本気をみせろ！  
～感動と勇気をこの手で伝えよう～」
- 3月3日 ・第59回高等部卒業式 卒業生3名

- 3月14日 ・第55回幼稚部修了
- 3月16日 ・第66回小学部、第61回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部2名）
- 3月24日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 定年退職 教諭 本成 美和子 介助員 佐和田 裕人  
教頭 川満 恵 他職員離任

### 令和5年度

- 4月1日 ・定期人事異動により 教頭 比嘉 淳 他26名赴任
- 4月7日 ・一学期始業式、就任式
- 4月10日 ・入学式 幼稚部9名 小学部2名 中学部2名 高等部1名、入舎式
- 4月14日 ・中、高等部合同 春の遠足、新入生歓迎会
- 4月25日 ・開校記念集会
- 4月27日 ・幼稚部 春の遠足
- 4月28日 ・小学部 春の遠足
- 5月27日 ・土曜参観日及びPTA 総会 創立100周年記念事業期成会
- 6月19日～30日 ・高等部 前期就業体験
- 7月21日 ・一学期終業式
- 9月1日 ・二学期始業式
- 10月5日～6日 ・小学部修学旅行（ネオパークオキナワ、マリニピアザオキナワ、海洋博公園）
- 10月22日 ・第45回運動会・体育祭 テーマ「さあ盛り上がれ！ もっと笑顔で 限界を超えろ！」
- 10月26日～27日 ・第58回九州地区豊学校体育・文化連盟福岡大会
- 11月6日～17日 ・高等部後期就業体験
- 11月8日～10日 ・中学部就業体験
- 12月25日 ・二学期終業式
- 1月5日 ・三学期始業式
- 3月1日 ・第60回高等部卒業式 卒業生7名
- 3月11日 ・第56回幼稚部修了式
- 3月15日 ・第67回小学部、第62回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部1名）
- 3月22日 ・小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 ・定期人事異動 役職定年 校長 大城麻紀子 事務長 比嘉 勝人 他 職員離任

### 令和6年度

- 4月1日 定期人事異動により 校長 稲田政博 他28名赴任
- 4月8日 一学期始業式、就任式 入学式 幼稚部15名 小学部4名 中学部1名、入舎式
- 4月10日 開校記念日(100周年)
- 5月25日 土曜参観日及びPTA 総会、創立100周年記念事業期成会
- 7月11日 中学部 宿泊学習（沖縄県立玉城青少年の家、斎場御嶽）～12日
- 7月22日 一学期終業式
- 9月2日 二学期始業式
- 9月5日 創立100周年記念事業 北中城村統一給食
- 9月26日 第59回九州地区豊学校体育・文化連盟鹿児島大会 ～27日
- 10月8日 小学部 宿泊学習（ネイチャー館、沖縄県立石川青少年の家、お菓子御殿）～9日
- 11月24日 創立100周年記念事業 テーマ「百年の軌跡と絆…手で語り伝え、未来へ紡ぐ」  
除幕式、式典、祝賀会
- 12月25日 二学期終業式
- 1月7日 三学期始業式
- 3月1日 第61回高等部卒業式 卒業生2名
- 3月10日 第57回幼稚部修了式
- 3月13日 第68回小学部、第63回中学部卒業式（卒業生：小学部2名 中学部4名）
- 3月19日 小、中、高等部修了式、離任式
- 3月31日 定期人事異動 校長 稲田政博 教頭 比嘉 淳 他 職員離任

## 令和7年度

4月1日	定期人事異動により 校長 上運天滋 他 24名赴任
4月7日	一学期始業式、就任式
4月8日	入学式 幼稚部 12名 小学部 4名 中学部 2名 高等部 3名、入舎式
4月10日	開校記念日(101周年)
4月18日	中、高等部合同 春の遠足、新入生歓迎会
4月23日	幼稚部 春の遠足
5月2日	小学部 春の遠足
5月17日	土曜参観日及びPTA総会、
5月29日	はなさき支援学校との合同火災避難訓練
6月11日	寄宿舎 佐賀豊学校、三重豊学校との三者オンライン交流会
6月16～20日	高等部 前期就業体験
6月25日	幼稚部 諸聖徒保育園交流
7月2日	幼稚部 七夕まつり
7月18日	一学期終業式
7月24日	小学部 1年に転入生
8月14日	中学部 1年に転入生
9月1日	二学期始業式
9月8日	寄宿舎 月見会
9月10日	高等部 姫路聴覚支援学校との交流
9月10～11日	小学部 修学旅行(本島北部)
9月17日	中学部高等部 先輩と語る会
9月17日	幼稚部 おじいちゃんおばあちゃんの会
9月18日	中学部 北中城中学校との交流
9月22日	寄宿舎祭り
9月24日	はなさき支援学校との合同地震津波火災避難訓練
10月1日	幼稚部 諸聖徒保育園交流
10月1～3日	中学部 修学旅行(九豊体文連)
10月2～3日	高等部 第60回九州地区豊学校体育・文化連盟大分大会
10月8日	幼稚部 お月見会
10月26日	第46回運動会・体育祭
11月6日	小学部 地震体験防災センター見学
11月10～14日	高等部 後期就業体験
10月12～14日	中学部 就業体験
11月18日	幼稚部 ヤクルト健康講座
11月19～20日	幼稚部 入学者選抜
11月28日	小学部にじ組 校外学習(沖縄こどもの国)
12月1日	幼稚部 入学予定者発表
12月5日	小学部 お話し会
12月10日	小学部 中の町小学校との交流会
12月10日	高等部 安全講話
12月22日	ふれあい給食
12月25日	二学期終業式
令和8年	
1月6日	三学期始業式
1月14日	幼稚部 餅つき
1月14～16日	高等部 修学旅行(大阪)
1月23日	県指定研究中間報告会
2月3日	高等部 マナー学習会
2月10日	駅伝大会
2月12日	寄宿舎 三重・佐賀豊学校との交流
2月17～19日	幼稚部 お話し会
2月19日	中学部高等部 卒業生を送る会

2月3日 寄宿舍 ひなまつり  
3月1日 第62回高等部卒業式 卒業生2名  
3月3日 小学部 6年生を送る会  
3月4～5日 高等部 入学者選抜検査  
3月6日 第58回幼稚部 修了式  
3月11日 ふれあい給食  
3月12日 第69回小学部、第64回中学部卒業式（卒業生：小学部1名 中学部2名）  
3月17日 高等部 合格発表  
3月19日 小、中、高等部 修了式、離任式

令和8年3月 記載責任者 教頭 玉城工

2 歴代管理職（校長、副校長・教頭、事務長）及びP T A会長一覧（敬称略）

年度	校長	副校長・教頭	事務長	P T A会長
令和8年	上運天 滋	玉城 工	川平 明子	當山 瞳
令和7年	上運天 滋	玉城 工	川平 明子	當山 瞳
令和6年	稲田 政博	比嘉 淳	川平 明子	島袋 雄介
令和5年	大城 麻紀子	比嘉 淳	比嘉 勝人	島袋 雄介
令和4年	大城 麻紀子	川満 恵	比嘉 勝人	玉那覇恵美理
令和3年	安里 吉実	川満 恵	田場 一典	玉那覇恵美理
令和2年	安里 吉実	上運天 滋	田場 一典	照屋 信之
平成31年 令和元年	幸地 英之	上運天 滋	比嘉 弘幸	垣花 水貴
平成30年度	幸地 英之	上運天 滋	比嘉 弘幸	垣花 水貴
平成29年度	幸地 英之	下地 靖子	長濱 玲子	大濱 美和
平成28年度	又吉 安一	下地 靖子	長濱 玲子	本田 田都子
平成27年度	又吉 安一	下地 正也	長濱 玲子	照屋 国子
平成26年度	真謝 孝	下地 正也	上原 和弘	照屋 国子

### 3 学校経営計画

#### 1 学校の教育目標

聴覚に障害のある幼児児童生徒の持てる力を最大限に伸ばし、生きる力を育み、自立し社会参加できる人間を育成する。

##### (1) 本年度の重点目標

- ① 聴覚障害教育の専門性を高め、授業改善を進めながら一人一人に応じた指導・支援の充実を図る。
- ② 自立と社会参加の力を育むよう、教育目標やキャリア発達を踏まえた主体的かつ対話的な活動を進める。
- ③ 家庭や地域、医療、福祉など関係機関等と連携した聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る。
- ④ 個別最適な学びと協働的な学びの一体化の実現に向けた視覚的情報保障のある新たな学びの教育環境整備に努める。
- ⑤ 教職員にとって、幼児児童生徒の成長が実感でき、働きやすさ、働きがいを実感できる魅力のある学校づくりを推進する。

##### (2) 具現化するための方針

- ① 聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに障害の状態や特性などの確な実態把握を行い、個別の教育支援計画・指導計画に基づき、指導と評価のPDCAサイクルを通して、指導の充実を図る。
- ② 個々の聞こえや言語発達に関する知識や指導方法への理解を深め、多様なコミュニケーション方法を適切に選択・活用しながら、日本語の読み書き能力を高める指導を進める。
- ③ 自立と社会参加の力を育むよう、キャリア発達を考慮した主体的かつ体験的な活動（交流及び共同学習、職場体験等）を進め他者との関わり、人間関係を築く力を育む。
- ④ 自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実を努める。
- ⑤ 食育の実践や寄宿舎教育など家庭と連携した基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努め、心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。
- ⑥ 医療・福祉など関係機関との連携を密にし、情報の共有に努め、乳幼児教育相談や通級による指導などに対応するとともに指導に生かす。
- ⑦ 個別最適な学びを推進し確かな学力を身につけるために、ICTを活用した指導実践や指導視覚的情報保障のある教育環境整備に努める。
- ⑧ 外部専門家等を活用した授業研究や手話講習会等の研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と持続可能な体制づくりに努める。
- ⑨ 法令や服務規律の遵守及び学校全体としての人権意識の高揚を図るとともに学校における働き方改革を意識した校務の整理・精選・効率化を進める。
- ⑩ 各学部、分掌等の校内組織が連動し、教育目標の具現化に向け計画的・組織的な実践・活動を行い、チーム学校機能の構築を図る。

#### 2 教育課程編成の基本方針

教育関係法令、教育要領及び学習指導要領改定の要点等を踏まえ、本校の教育目標である生きる力を育み、自立し社会参加できる人間の育成を図ることを目的とし、また一人一人の障害の状態に応じた指導の充実を目指し教育課程を編成する。

##### (1) 「社会に開かれた教育課程」の実現

社会との連携・共同による「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すため、学校において必要な学習内容を「どのように学び」「どのような資質・能力を身に付ける」のか明確にする。

(2) 「育成を目指す資質・能力」の明確化

自立し社会参加するために必要な育成すべき資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性の涵養等」(三つの柱)及び幼稚部においては「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10項目)」を明確にした上で教育目標・内容等を設定する。

① 各教科等で身に付ける力

・何を理解しているか、何ができるか(知識・技能<幼稚部は基礎>)

② 教科等横断的に身に付ける力(汎用的な力)

・理解していること、できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等<幼稚部は基礎>)

・どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)

(3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた授業改善

教科等横断的な視点に基づき、各教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や各教科等の学習を通して身に付けた力を統合的に活用して諸課題に対応していくための資質・能力(三つの柱)を育む。

単元や題材などの目標・内容・時間配当等に見通しをもち、各教科等の「見方・考え方」を習得・活用・探求できる場を設定し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

※ 「見方」とは、教科で身に付ける知識・技能等を統合・包括することができるための「概念」のこと。

「考え方」とは、教科ならではの認識や思考、表現の「方法」のこと。

※ 「対話的な学び」の「対話」とは、他者だけでなく、これまでの自分の考え等と向き合い、自分の新たな考えを見出すことも含める。

(4) 「カリキュラム・マネジメント」の推進

学校の経営目標や教育目標を明確にし、学校評価と関連づけながら教育課程を編成するため、カリキュラム・マネジメント4つの側面を踏まえる。

① 教育目標の実現に向け必要な教育内容を教科等横断的な視点で組み立てる。

② 教育課程や授業の実施状況を評価しながらその改善を図っていく。(PDCA サイクル)

③ 教育課程の実施に必要な人的又は物的資源の確保・改善を図る。

④ 「個別の指導計画」の実施状況の評価と改善を教育課程の評価と改善につなげる。

(5) 「学びの連続性を重視した対応」

インクルーシブ教育システムの構築を含め、他校種及び校内においても各教科等の目標や内容のつながり、連続性(系統性:簡単→難しい、単純→複雑、具体的→抽象的へと段階的に配列する。)を整理する。

(6) 「キャリア形成と自己実現」

① 自立と社会参加を目指すため、「自己の生き方」「社会人としての生き方」等を目指し、これまでの活動を振り返る中で「自己の将来」や「社会参加」につなげるための役割を果たす等の目標を踏まえ、キャリア・パスポートの活用(自己評価・改善)しながら学校教育全体を通して行う。

② 自他の理解やコミュニケーション能力等の人間関係形成能力を育むため、交流及び共同学習を推進するとともに、隣接校、居住地校、他県の豊学校との連携及び校内における集団活動の充実を図る。

(7) 各教科等

① 体験的な活動を通して言語概念の形成を図りながら、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の育成等を目指す。

② 幼児児童生徒個々のコミュニケーション能力(意志の表出や手段など)に応じた適切な補助具や補助的手段を工夫するとともに、情報機器など視覚的情報を有効に活用し、各教科等における指導効果を高める。

- ③ 各教科の指導にあたっては、自立活動の時間における指導と関連させながら学習効果を高める。
- (8) 各教科等を合わせた指導
  - ① 各教科、道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動などそれぞれの目標及び内容を基にして、目標や内容の系統性・関連性に配慮しながら、指導目標、指導内容、時間配当等を明確にし、指導計画を作成する。
  - ② 指導を行う場合、教育内容と指導形態と混同しないよう配慮し、各教科等の内容を習得させるための学習活動を計画する。
- (9) 自立活動
  - ① 指導内容は、個々の障害の状態等に応じて、6つの区分27項目の中から中心課題を設定して指導する。
  - ② 自主的な活動を促すため、自らの状態を把握し様々な環境や状況に対応できる判断力や調整力を育む。そのため、自己選択・自己決定する機会を設け、思考したり、判断したりすることができる内容を取り上げる。
  - ③ 自立活動の学習の意義を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力であることを理解できるような内容を取り入れる。
  - ④ 自立活動の流れ図をもとに、指導を行うとともに、学習内容を生活年齢や発達年齢に合わせて見直し、改善する。
- (10) 指導計画作成にあたっての配慮事項
 

特別支援学校学習指導要領から聴覚に障害のある幼児児童生徒の指導計画作成にあたっての配慮事項として挙げられている以下の項目を踏まえることとする。

  - ① 手話や口話、その他の多様な言語手段を活用した学習の基盤となる言語概念の形成と思考力の育成
  - ② 読書に親しみ、日本語を読んで書いて表現する態度の育成
  - ③ 言葉等による意思の相互伝達(手話、口話、筆談・・・)
  - ④ 保有する聴覚の活用
  - ⑤ 「わかる授業」かつ学び残しのない指導内容の精選等
  - ⑥ 視覚的情報を保障した教材・教具や ICT 機器等の活用
- (11) 教育課題に対する指導の重点
  - ① 手話を含む視覚的情報保障による基礎的・基本的知識・技能の定着を図る授業改善
  - ② インクルーシブ教育システムを推進する多様な交流および共同学習
  - ③ 思考力、判断力、表現力を育成する GIGA スクール構想下での情報教育
  - ④ 生活的・社会的・職業的自立および社会参加・貢献の意識を高めるキャリア教育
  - ⑤ 学校、家庭、地域が連携しての家庭教育の充実および生涯学習
  - ⑥ 学校教育の充実および地域のセンター校としての役割を果たす職員の専門性の向上
  - ⑦ 安全教育の推進および安全管理体制の構築

## 幼稚部

### 【3，4，5歳児】

- (1) 幼稚部の教育目標幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることを踏まえて、幼児一人一人の特性に応じ、次の目標の達成に努める。
- ① コミュニケーションする意欲や態度を育て、日常生活に必要な言葉の習得をめざす。
  - ② 元気なからだ、感動する心、考える力を育てる。
  - ③ お互いに関わり、認め合う力を育てる。
  - ④ 身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。

### 目指す幼児像

- 心身ともに健康で、明るい子
  - ・ 進んで挨拶をする子
  - ・ のびのびと体を動かす子
- よく見て、よく聞いて、よく話す子
  - ・ 身振りや言葉で進んで話す子
  - ・ 補聴器等を活用し話をよく聞く子
  - ・ 口元をよく見て読話する子
- みんなと仲良く遊ぶ子
  - ・ みんなと仲良く協力して遊ぶ子
  - ・ みんなと仲良く工夫して遊ぶ子

### (2) 教育課程の編成方針

- ① 幼児の障害の状態及び発達の段階や特性、生活体験等を考慮して編成する。
- ② 保育参加のもと、家庭、地域及び関係機関との連携を図り編成する。
- ③ 幼稚部における教育において育みたい資質・能力を踏まえつつ、心身の調和的発達の基礎が培われるように、健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動の6領域について相互に関係を持たせ、具体的な活動を通して総合的に指導が行われるよう編成する。
- ④ 幼稚部における教育と小学部における教育又は小学校教育との円滑な接続が図れるよう編成する。

### (3) 各領域の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮する。

- ① 幼児の保有する聴覚を最大限に活用し、補聴器や人工内耳等を装用し、音や言葉の存在に気付き、それらを弁別する力を育成する。
- ② 幼児の実態に即して、言葉や視覚的な情報を含む様々な手段によって、気持ちのやりとりができるようにする。
- ③ 幼児の視覚や聴覚などを活用した遊びを創意工夫し、興味や関心を引きながら、その経験に即して主体的に言葉を身につけることができるようする。
- ④ 幼児と教師、幼児同士及び幼児と家族などとの間における望ましい人間関係を育む中で、幼児の生活場面に即して適切な言葉掛けをするようにする。
- ⑤ 幼児に自分から身の回りのものなどに関わるように促すとともに、身近にある音や声を聴こうとする態度を育て、言葉と意味を結びつけることにより言葉の習得を図るようにする
- ⑥ 話し手に注目して、その口形や表情などから、視覚的に言葉を受容できる力の育成に努める
- ⑦ 発音・発語の指導をすることにより、言葉を表出する力を育てる。
- ⑧ 幼児が習得した言葉を用いて、日常のいろいろな場面で物事を考えたり、行動したりできる力を育てる。
- ⑨ 思考力を育てるために、単に名称の理解にとどまらないよう、人や物の性質、属性なども含めて考えたり、比較して違いを考えたりする。

力を育てる\*知識及び技能(以下【知】とする。)思考力、判断力、表現力(以下【思】とする。)学びに向かう力、人間性(以下【学】とする。)の資質・能力の3つの柱と表記する。

- ① 健康 ○基本的な生活習慣を身につける。【知】  
○様々な活動や遊びに興味を持ち、思い切り体を動かす楽しさを味わう。【学】  
○健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しをもって行動する。  
【思】
- ② 人間関係 ○幼稚部での生活を楽しみ、自分の力で行動する充実感を味わう。【学】  
○すすんで身近な人と関わりをもち、工夫したり、協力したりして一緒に行動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。【思】  
○社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。【知】
- ③ 環境 ○身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。【学】  
○身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。【思】  
○日常生活の中で、事象や数量、文字などに関心を持つ。【知】
- ④ 言葉 ○自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。【学】  
○人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。【思】  
○絵本や物語などに親しみ、想像力を豊かにする。【知】  
○したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを自分なりに言葉で表現する。  
【思】
- ⑤ 表現 ○感じたこと、考えたこと、経験したことなどを伝え合う楽しさを味わう。【思】  
○歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりして、音楽に親しむ。【学】  
○伸び伸びと絵をかいたり、物を作ったりする事ができる。【知】
- ⑥ 自立活動 ○個々の幼児が自立を目ざし、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。  
・補聴器等の装用を習慣づけ、聴覚を活用する事ができる。  
・保有する感覚を活用し、認知や行動の手がかりとしての概念の形成を図る。  
・言葉に興味をもたせ、聴くこと、話すこと、読むこと、書くことへの意欲を高め日常生活の中でも活用できる。  
・コミュニケーションの基礎的能力を習得するための素地を養う。

#### (4) 交流及び共同学習の重点

- ① 交流先の幼児と活動を共にすることで、様々な触れ合いや出会いの体験を豊かにする。
- ② 交流先でのいろいろな経験を通して、幼児個々の社会性及び自立心の芽生えを育む。
- ③ 日頃の保育の中で培った幼児自身の伝え合う力（コミュニケーション力）が、交流先の同年齢集団の中でも発揮できる。
- ④ 交流先の幼児との交流を通して、お互いを知り、地域での関わりを広げる。

#### (5) キャリア教育の重点

- ① 身近な人や友だちに親しみをもって、あいさつをかわすことができる。
- ② いろいろな活動を通して経験を広げ、好奇心や探究心をもって主体的に関わろうとする意欲を持つ。
- ③ 自分には補聴器等が必要なことがわかり、大切に扱うことができる。

#### (6) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① すずんで身近な人と関わり、一緒に考えたり、工夫したり、協力しながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ② いろいろな遊びを楽しみながら、物事をやり遂げる達成感を味わい、自信をもって行動する

#### (7) 安全に関する指導の重点

- ① 危険な場所を知り、一緒に安全な行動ができる。
- ② 施設や遊具、用具等の正しい使い方を知り、安全に使える。
- ③ 交通の決まりを知り、安全に気をつけて行動ができる。
- ④ 火事や地震の災害時や不審者侵入時に教師と一緒に適切な行動ができる。

(8) 教育日数、教育時数及び教育週数の配当

年齢(歳児)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
3歳児	教育日数	15	19	21	13	0	19	21	18	19	17	18	5	188
	教育時数	61	90	105	61	0	91	101	80	91	81	90	21	888
	教育週数	39週												
4歳児 5歳児	教育日数	15	19	21	13	0	19	21	18	19	17	18	5	188
	教育時数	61	100	118	68	0	101	113	89	102	90	98	22	976
	教育週数	39週												

## 小学部

### (1) 小学部の教育目標

- ① 学習に必要な基礎的言語力を身につけ、基本的なコミュニケーション能力を育てる。
- ② 主体的な学びで思考力、判断力、表現力を伸ばし、基礎学力の定着を図る。
- ③ 集団を意識し、自主性、協調性や思いやりの心を育てる。
- ④ 家庭と連携して生活習慣を確立し、心身ともに健康で明るい子に育てる。
- ⑤ 人権感覚を養い、一人ひとりを大切にする豊かな人間性、忍耐強い心、生きる力を育む。

### (2) 教育課程の編成方針

自立し、社会参加をするために必要な目指すべき資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考・判断・表現等」「学びに向かう力、人間性等」）を明確にした上で教育目標や内容等を設定する。

- ① 一般学級においては学習指導要領を基に小学校に準じた教育課程を編成し、児童の実態に応じて指導内容及び指導時数を弾力的に設定する。
- ② 重複障害学級（知的代替）においては、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にし、児童の実態に応じて指導内容及び指導時数を弾力的に設定する。
- ③ 全児童について、個別の教育支援計画に基づいた個別の指導計画を作成し指導の充実を図る。
- ④ 児童の実態を十分把握し、各学年・各学部との連携のもとで一貫性のある教育課程を編成する。
- ⑤ 基本的生活習慣の形成と基礎学力の向上をめざし、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう編成する。
- ⑥ 少人数学級の実態を踏まえ、望ましい社会性や人間性を育てるため、集団活動や校内外における交流及び共同学習を計画的に実施し、その充実が図れるよう編成する。
- ⑦ 道徳科においては、学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科を要として各教科等それぞれの特質に応じて児童の発達の段階を考慮して適切に指導を行う。

### (3) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮する。また、PDCA サイクルを踏まえた年間指導計画を作成し適切な評価や教育課程編成に繋げ、カリキュラムマネジメントを推進する。

- ① 児童の発達段階に応じた体験的学習を通して、個々の実態に応じた言語概念の形成を図り、思考力の育成に努めること。
- ② 児童の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点を置いて指導すること。
- ③ 視覚的に情報を得やすい教材・教具やコンピュータ等の情報機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- ④ 児童の言語発達の程度に応じて、主体的に読書に親しむ態度を養うように工夫すること。
- ⑤ 補聴器、人工内耳、補聴援助システム等の利用により、児童の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑥ 児童の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段の有効な活用を図り、意志の相互伝達が正確かつ効率的に行われるようにすること。
- ⑦ 外国語活動においては聞くこと、話すことを中心にして、外国語科は読むこと、書くことを加え、コミュニケーションの基礎的な資質能力の育成を充実させる。
- ⑧ 道徳的価値を自分のこととして理解し、多面的、多角的に深く考えたり、話したりする態度を育てる。

### (4) 交流及び共同学習の重点

#### 〈学校間交流〉

- 大きな集団での活動を通して、生活経験の拡充を図り、社会性や協調性を養う。
- 積極的に集団に参加する意欲を育て、同じ社会に生きる者として、お互いを理解し、関わり合いながらコミュニケーション能力を高める。

#### 〈居住地校交流〉

- 居住地校での交流及び共同学習を通して、生活経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を

育む。

○自分の聞こえの特徴や自分に合った情報保障について考えたり、必要に応じて援助依頼をしたりすることができる。

#### (5) 生徒指導の重点

○小学生として必要な基本的な学習規律や生活態度を身につける。

○自分や友達を大切に、きまりを守りながら、楽しい学校生活をおくる態度を育てる。

○自分の行動に責任を持って判断し、自主的な行動ができる。

#### (6) キャリア教育の重点

○自己の抱える学習や社会生活上の困難について理解し、自立や社会参加に向けて持てる力を高める。

○夢や希望を持ち、自分の好きなことや得意なことを見つけようとする態度を養う。

○係活動等を通して、集団の一員として自分の役割を果たすために主体的に考えて行動することができる。

#### (7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

生涯の各時期において、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、新たな知識や技能、教養を身に付けることができるように以下の項目に取り組む。

○生涯にわたり学習する基盤を支える確かな学力を育む。

○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。

○児童が自分の良さや可能性に気づき、積極的に伸ばそうとする態度を育て、自己肯定感を育む。

○情報通信機器を積極的に活用する。

○生涯を通じて心身共に調和のとれた健やかな体の育成を図る。

○文化やスポーツなどに関し、家庭と連携しながら地域における活動や施設など情報収集に努める。

#### (8) 安全教育の重点

○教育活動全般を通して、安全のために必要な事柄を理解し、望ましい行動ができる態度や能力を養う。

○基本的な交通マナーを守り、安全な登下校ができる態度や能力を養う。

○災害・非常時（地震・火災・不審者等）に適切な行動ができる能力を養う。

#### (9) ICT 利活用の重点

○iPad 等積極的な活用を通して、情報機器に慣れる。

○写真や動画などを見て、学習を深めたり必要な情報を収集したりして、学習の充実を図る。

○長文の作成や写真・音声・動画などを用いた多様な資料や作品の制作を通して、表現の幅を広げる。

#### (10) 年間授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
4年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
5年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
6年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	9	191
備考													

様式3 小学部 ( I ) 課程

① 標準授業時数表

I 課程 (小学校の教育課程に自立活動を加えて編成)

教科等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考	
	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	306	9	315	9	280	8	263	7,5	210	6	210	6	
	社会					70	2	105	3	88	2,5	105	3	
	算数	204	6	245	7	192	5,5	192	5,5	192	5,5	175	5	
	理科					88	2,5	105	3	105	3	105	3	
	生活	68	2	70	2									
	音楽	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	家庭									35	1	35	1	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計	714	21	770	22	770	22	805	23	840	24	840	24		
道徳科	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
外国語活動					35	1	35	1	0		0			
総合的な学習の時間					35	1	35	1	35	1	35	1		
特別活動	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
自立活動	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2		
合計	850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29		

様式3 小学部 ( II ) 課程

② 標準授業時数表

教科等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考	
	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	生活	204	6	245	7	280	8	280	8	280	8	280	8	
	国語	170	5	175	5	175	5	210	6	210	6	210	6	
	算数	102	3	140	4	140	4	140	4	140	4	140	4	
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	図画工作	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計	680	20	770	22	805	23	840	24	840	24	840	24		
道徳科	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
外国語活動					35	1	35	1	35	1	35	1		
特別活動	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
自立活動	102	3	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2		
計	170	5	140	4	175	5	175	5	175	5	175	5		
合計	850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29		

## 6 中学部

### (1) 中学部の教育目標

- ①基本的な言語力とコミュニケーション能力の定着を図り、基礎学力の向上を目指す。
- ②生徒相互の好ましい人間関係を育てると共に責任感、忍耐力、思いやりの心を育てる。
- ③健康保持および体力向上等の生活習慣を確立し、社会参加・自立に必要な基礎的な知識や態度を育てる。
- ④生徒が自ら主体的な生き方を考え行動するような態度や能力を育成し、主体的に進路選択ができるように指導を図る。

### (2) 教育課程の編成方針

- ① 一般学級においては学習指導要領を基に中学校に準じた教育課程を編成し、生徒の実態に応じて指導内容を弾力的に選定する。
- ② 重複障害学級（知的代替）においては、特別支援学校学習指導要領（知的障害である生徒に行う特別支援学校の各教科）の各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で、個々の生徒の実態に応じて効果的に実施するために、教科別の指導及び自立活動等を行うよう編成する。
- ③ 各学部、各学年の連携を図り、一貫性のある教育課程を編成する。
- ④ 各教科等の基礎的・基本的な事項に重点を置いて、指導の充実を図る。
- ⑤ 生徒の障害の状態や発達段階に即した指導が十分行われるよう弾力的に編成する。併せて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、指導の充実を図れるよう編成する。
- ⑥ 生徒の実態に応じ、他校及び地域社会との交流活動が図れるよう編成する。
- ⑦ 社会自立・参加に必要な基礎的な知識・技能及び態度を培う指導の充実が図れるよう編成する。

### (3) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、次の事項に配慮する。

- ①体験的な活動等を通して的確な言語概念の形成を図り、生徒の発達に応じた思考力の育成に努めること。
- ②生徒の言語発達の程度に応じて、主体的に読書に親しむ態度を養うように工夫すること。
- ③生徒の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点を置いて指導するとともに、生徒の思考力・判断力・表現力等を育む学習活動を行うこと。
- ④個に応じたコミュニケーション手段（聴覚口話や手話・指文字等）及び共通のコミュニケーション手段（手話）を活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑤補聴器等の利用により、生徒の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにすること。
- ⑥視覚的に情報を得やすい教材・教具やコンピュータ等の情報機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- ⑦生徒の言語発達の程度に応じて、言葉による意思の相互伝達が活発に行われるように指導方法を工夫すること。

#### (4) 交流及び共同学習の重点

- ①居住地校での活動を通して本校で培った主体的に学ぶ(関わる)力や他者と協働して取り組む力を集団の中で発揮するとともに、相互理解を深め自立と社会参加を促進する。
- ②普通中学校の授業に参加することで、自分の日本語力や教科学習の力を認識し、今後の学習や進路について目標や課題意識、見通しを持たせる。
- ③同年代の生徒との交流を通して、自己についての理解を深め、他者との関わり方について考えるとともに、様々なコミュニケーション手段を用いた対話を通して協働する態度を養う。

#### (5) 生徒指導の重点

- ①中学生として必要な基本的な生活態度を身につける。
- ②自己の属するさまざまな集団の意義を理解し、協力し合って集団生活ができる。
- ③自分の行動に責任を持って正しく判断し、自主的な行動ができる。

#### (6) キャリア教育の重点

将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための力を養う。指導に際しては、学校教育活動全体を通して行う。

- ①個別の教育支援計画をもとに、キャリアパスポート等を活用しながら、生徒の実態について職員全体で共通理解を深める。
- ②自己の進路について主体的意欲的に考える力を育むため、勤労・職業観を養う指導の充実に努める。
- ③希望進路等の把握に努め、個々の能力や適正に応じた情報提供に努めるとともに、生徒の情報活用能力を高める。
- ④就業体験及び事前・事後学習を通して、目標の明確化・評価・振り返りにより自己理解を深め、課題対応能力を高める。
- ⑤働く人の権利やルール(法や規制)を学ぶ「ワークルール教育」の充実に努める。

#### (7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

生涯の各時期において、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、学んだことが社会に活かせるような生涯学習社会の形成を目指して、以下の項目に取り組む。

- ①生涯にわたり学習する基盤を支える確かな学力を育む。
- ②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。
- ③生徒が自分のよさや可能性に気づき、積極的に伸ばそうとする態度を育て、自己肯定感を育む。
- ④生涯学習の機会を拡充するため、情報通信機器を活用する。
- ⑤生涯を通じて心身共に調和のとれた健やかな体の育成を図る。
- ⑥文化やスポーツ等に関し、家庭と連携しながら地域における活動内容や施設などの情報収集に努める。

### (8) 安全教育の重点

- ①日常生活で起こる事故の内容について見通しを持ち、安全に行動できる。
- ②様々な交通場面における危険を理解し、安全に行動できる。
- ③様々な災害発生時における危険について理解し、適切な行動ができる。

### (9) ICT 機器利活用の重点

- ①画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの視覚的で分かりやすい教材を活用し、学習課題等を効果的に提示・説明することで、学習活動を焦点化し、学習課題への理解を促す。
- ②学習者用コンピュータや大型提示装置を用いて、動画・アニメーション・音声等を含む指導者用デジタル教科書・教材を提示することにより、生徒の興味・関心の喚起を図る。
- ③情報端末を用いて、一人一人の特性や習熟の程度などに応じて、個に応じた学習を行い、知識・技能の習得を図る。
- ④インターネットやデジタル教材を用いた情報収集、観察における写真や動画等による学習課題に関する調査を行うことで、情報を主体的に収集・判断する力を身に付ける。
- ⑤写真、音声、動画等のマルチメディアを用いて多様な表現を取り入れた資料・作品を制作する中で、作品を通じた活発な意見交流を促す。
- ⑥情報端末や電子黒板等を用いて、個人の考えを整理して伝え合ったり、グループ内で複数の意見・考えを共有することで、思考力や表現力を培ったり、多角的な見方・考え方に触れる。

### (10) 年間授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	9	191
備考													

様式5 中学部 ( I ) 課程

② 標準授業時数表

I 課程 ( 中学校の教育課程に自立活動を加えて編成)

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	140	4	140	4	122.5	3.5		
	社会	105	3	105	3	140	4		
	数学	140	4	105	3	140	4		
	理科	105	3	140	4	140	4		
	音楽	35	1	35	1	35	1		
	美術	35	1	35	1	35	1		
	保健体育	105	3	105	3	105	3	保健を含む	
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語	140	4	140	4	140	4		
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		875	25	875	25	892.5	25.5		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	0	35	0	35	0	年間を通して行う。	
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		70	2	70	2	52.5	1.5		
計		175	4	175	4	157.5	3.5		
合計		1050	29	1050	29	1050	29		

II 課程 ( 知的特別支援学校中学部の教育課程で編成)

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	175	5	175	5	175	5		
	社会	35	1	35	1	35	1		
	数学	105	3	105	3	105	3		
	理科	35	1	35	1	35	1		
	音楽	35	1	35	1	35	1		
	美術	70	2	70	2	70	2		
	保健体育	105	3	105	3	105	3	保健を含む	
	技術・家庭	職業分野	140	4	140	4	140	4	
		家庭分野	140	4	140	4	140	4	
	外国語	35	1	35	1	35	1		
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		875	25	875	25	875	25		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	0	35	0	35	0	年間を通して行う。	
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		70	2	70	2	70	2		
計		175	4	175	4	175	4		
合計		1050	29	1050	29	1050	29		

## 7 高等部

### (1) 高等部の教育目標

- ① 健康・安全に対する意識を高め、生涯を通して健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。
- ② 人権感覚を磨き、一人ひとりを大切にす豊かな人間性、忍耐強い心、生きる力を育て、社会人としての素地を培う。
- ③ 自己理解や他者理解を深め、人間関係形成能力の発達と社会で生きていく力の育成、希望する進路実現を目指す意欲と態度を育てる。
- ④ 言語力の充実と基礎学力の確かな向上をめざし、社会参加のための豊かなコミュニケーション能力を身につけさせる。
- ⑤ 望ましい勤労観・職業観を育成し、自立して社会参加するための知識・技能・態度を養う。
- ⑥ 高等部は社会とのつながりの段階であることから、自分ができること、できないことを把握し、円滑に合理的配慮を求めることができる力など、人生における諸処の課題を乗り越えるための知識や技能、態度を身につけさせる。

### (2) 教育課程編成の方針

- ① 卒業後、自立し社会参加をするために必要な目指すべき資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考・判断・表現等」「学びに向かう力、人間性等」）を明確にした上で教育目標や内容等を設定する。
- ② 一般学級においては、学習指導要領を基に高等学校に準じた教育課程を編成し、生徒の実態に応じて指導内容を弾力的に選定する。
- ③ 重複障害学級（知的代替）においては、各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で個々の生徒の実態に応じて効果的に実施するために教科別の指導や教科等を合わせた指導を弾力的に編成できるようにする。
- ④ 各学部、各学年間の連携を図り、学びの連続性を重視した指導内容等を編成する。
- ⑤ 教科横断的な視点も含め、各教科等の基礎的・基本的な事項に重点を置き、自立活動との関連も押さえた指導の充実を図る。
- ⑥ 生徒の障害の状態や発達段階に即した指導が十分に行われるよう弾力的に編成する。
- ⑦ 自立と社会参加を目指すために、一人一人のキャリア形成と自己実現に必要な知識・技能及び態度を培う指導の充実を図る。
- ⑧ 望ましい集団活動（他校との交流教育含む）を通して、自他の理解やコミュニケーション能力等の人間関係形成能力を育み、自主的・実践的態度の育成を図る。
- ⑨ 個別の指導計画及び個別の移行支援計画を作成し指導の充実が図れるよう編成する。

### (3) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な探究の時間、特別活動、自立活動の指導の重点

指導計画の作成と各学年の内容の取り扱いに当たっては、教科横断的な視点や学びの連続性を踏まえた上で、次の事項に配慮する。

- ① PDCA サイクルを踏まえた年間指導計画を作成し、各学年の内容の取り扱いに当たっては、適切な評価や教育課程編成に繋げ、カリキュラムマネジメントを推進する。
- ② 生徒の積極的な言語活動を促し、抽象的、論理的な思考力の伸長に努める。
- ③ 生徒の言語力に応じた読書指導を行い、適切な読書習慣の形成を図り、主体的に情報を獲得し、適切に選択・活用する態度を養うようにする。
- ④ 生徒の聴覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な事項に重点をおいて指導する。
- ⑤ 補聴器・人工内耳及び聴覚支援システムの利用により、生徒の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにする。
- ⑥ 視覚的に情報を得やすい教材・教具や ICT 機器を有効に活用し、指導の効果を高めるようにする。
- ⑦ 生徒の聴覚障害の状態等に応じ、音声、文字、手話等のコミュニケーション手段の有効な活用を図り、意志の相互伝達が正確かつ効率的に行われるようにする。
- ⑧ 生徒の障害の実態や多様性等を踏まえ、学習の形態・方法や内容等を柔軟に対応し、学習保障と効果的な学習活動が行えるよう配慮する。

### (4) 交流及び共同学習の重点

- ・ 他校との交流を通して生徒相互の理解を深める。
- ・ 幅広い体験活動を通して視野を広め、豊かな人間性や社会性を養う。
- ・ 障害を認識し、積極的に社会に参加する意欲を育てる。

(5) 生徒指導の重点

- ・ 高校生として必要な基本的な生活態度や規範意識を身につける。
- ・ 自己の属するさまざまな集団の意義を理解し、協力し合って集団生活ができる。
- ・ 自分の行動に責任を持って正しく判断し、自主的な行動ができる。

(6) キャリア教育の重点

- ・ 目的意識を持ち、自分で考え、計画し、行動に移し、様々な人々と協同して社会を支えることのできる能力・態度を養う。
- ・ 生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくこと（キャリア発達）を促す。
- ・ キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成し、それらは教育活動全体を通して、組織的及び系統的に行われる。
- ・ 生徒たちの実態を踏まえてキャリア教育の目標を設定し、教科横断的な視点で教育の内容を組織的に配列して教育課程を編成し、それを実践し、評価し、改善を図っていく。
- ・ 教育活動全体を通して「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」をもとにした個々の障害の状態に応じたきめ細かい指導・支援を行う。
- ・ キャリア教育で育成すべき能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の向上を推進する。
- ・ 就業体験実習をキャリア教育の重要な取り組みとして位置づける。
- ・ 授業展開の中にキャリア教育としての価値が潜んでいる場合に、その価値を見だし、学校の学びと社会とのつながりの意識を促す。
- ・ 要としての特別活動でバラバラに行っている活動をつなぎ、振り返ったり、見通したりする活動をキャリアパスポートによって積み重ねていくように、教師が対話的に関わり指導する。またそれにより、生徒は自己理解を、教師は生徒理解を深めていく。
- ・ 聴覚障害者が事業所で直面しがちなコミュニケーションに関する課題について教育活動全体を通して指導する。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ・ 学校教育を通して身に付けた資質・能力を活用し、卒業後も必要な支援を受けながら、学習、スポーツ、文化など生涯を通して豊かな生活が送れるよう知識や能力、態度を養う。

(8) ICT 機器利活用の重点

- ・ 生徒の情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。
- ・ 各教科において生徒に ICT 機器を適切かつ主体的、積極的に活用させ、情報社会に参画する態度の育成を図る。

(9) 安全教育の重点

- ・ 健康で安全な生活を営むための習慣や態度を育てる。
- ・ 防災についての意識を高め、災害時に正しい判断で行動する実践力をつけるようにする。

(10) 指導形態：生徒の実態に応じて、一斉授業、グループ授業、個別の指導の形態をとる。

(11) 授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	1	183
備考													

様式7 高等部普通科（Ⅰ）課程  
① 教育課程表（令和8年度入学者）

教科	科目 (色付:必修)	標準 単位 数	備考	1学年								2学年								3学年							
				進学						就労コース		進学						就労コース		進学						就労コース	
				理系		文系						理系		文系						理系		文系					
				筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース		県内私大 専門学校コース		週時数	年時数	筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース		県内私大 専門学校コース		週時数	年時数	筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース		県内私大 専門学校コース		週時数	年時数
国語	現代の国語	2	/	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70		
	言語文化	2		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35		
	国語表現	4		2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70		
地理歴史	地理総合	2	/							2	70	2	70	2	70	2	70										
	歴史総合	2		2	70	2	70															2	70	2	70		
	地理探究	3																		3	105						
	日本史探究	3																		※							
世界史探究	3																										
公民	公共	2	原則1～2年 履修	2	70			2	70	2	70			2	70												
数学	数学Ⅰ	3	2まで減可	4	140	4	140	3	105	3	105					3	105										
	数学Ⅱ	4								4	140							3	105								
	数学A	2								2	70							2	70		※	3	105	3	105		
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」+※を付した1科目(計2科目)又は※を付した科目を3科目	2	70	2	70	2	70	2	70																
	化学基礎	2																2	70	2	70						
	生物基礎	2											2	70	2	70	2	70	2	70			2	70	2	70	
保健体育	体育	7～8	/	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105		
	保健	2									1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	
芸術	美術Ⅰ	2	/	2	70	4	140	2	70	2	70																
	美術Ⅱ	2											4	140	2	70	2	70									
	美術Ⅲ	2																			4	140					
英語	英語コミュニケーションⅠ	3	2まで減可	3	105	3	105	3	105	3	105																
	英語コミュニケーションⅡ	4								4	140	4	140	2	70	2	70					2	70	2	70		
	論理・表現Ⅰ	2															2	70	2	70							
家庭	家庭基礎	2															2	70	2	70	2	70	2	70			
情報	情報Ⅰ	2		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	2	70	2	70	1	35	1	35		
学校設定	産業社会と人間			3	105	3	105	6	210	6	210	3	105	3	105	6	210	3	105	3	105	6	210	6	210		
小計				27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945		
特活・HR				1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35		
自立活動				2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70		
総合的な探究の時間				1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35		
		30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050		

※2年生の6月までであれば、進学する大学の変更に合わせて科目を変更することができる。

様式7 高等部普通科（Ⅰ）課程  
① 教育課程表（令和7年度入学者）

教科		科目 (色付:必修)		標準 単 位 数		備考		1学年										2学年										3学年									
								進学					就労コース					進学					就労コース					進学					就労コース				
								理系		文系			就労コース		理系		文系			就労コース		理系		文系			就労コース		理系		文系			就労コース			
								筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース		筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース		筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース		筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース			
週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数						
国語	現代の国語	2		2	70	2	70	3	105	3	105					2	70	2	70					2	70	2	70										
	言語文化	2		2	70	2	70	2	70	2	70					1	35	1	35					1	35	1	35										
	国語表現	4										3	105	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70						
	文学国語	4										2	70	2	70					2	70	2	70														
	論理国語	4																		2	70	2	70														
地理歴史	地理総合	2		2	70	2	70									2	70	2	70																		
	歴史総合	2										2	70	2	70									2	70	2	70	2	70	2	70						
	地理探究	3																					3	105													
	日本史探究	3																																			
	世界史探究	3																																			
公民	公共	2	原則1～2年 履修	2	70	2	70	3	105	3	105																										
	倫理	2														2	70																				
	政治・経済	2														2	70																				
数学	数学Ⅰ	3	2まで減可	4	140	4	140	3	105	3	105					3	105	3	105																		
	数学Ⅱ	4									6	210																									
	数学A	2		2	70								1	35								1	35	3	105	3	105	3	105	3	105						
	数学B	2																		4	140																
	数学C	2																	4	140																	
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」※を付した科目(計2科目)又は※を付した科目を3科目	2	70	2	70	2	70	2	70																										
	化学基礎	2																	2	70	2	70															
	生物基礎	2																	2	70	2	70															
保健体育	体育	7～8		2	70	2	70	3	105	3	105	3	105	3	105	2	70	2	70	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105						
	保健	2		1	35	1	35							1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35						
芸術	美術Ⅰ	2		2	70	4	140	2	70	2	70																										
	美術Ⅱ	2											4	140	2	70	2	70																			
	美術Ⅲ	2																				4	140														
英語	英語コミュニケーションⅠ	3	2まで減可	3	105	3	105	3	105	3	105																										
	英語コミュニケーションⅡ	4									4	140	4	140	2	70	2	70					2	70	2	70	2	70	2	70							
	英語コミュニケーションⅢ	4																	4	140	4	140															
	論理・表現Ⅰ	2		2	70	2	70																														
家庭	家庭総合	4									2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70							
情報	情報Ⅰ	2					1	35	1	35	2	70			1	35	1	35	2	70	2	70	1	35	1	35	1	35	1	35							
学校設定	産業社会と人間			1	35	1	35	5	175	5	175	1	35	1	35	5	175	5	175	1	35	1	35	6	210	6	210	6	210	6	210						
	小計			27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945						
	特活・HR	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35						
	自立活動	2		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35						
	総合的な探究の時間	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35						
				30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050						

様式7 高等部普通科（Ⅰ）課程  
① 教育課程表（令和6年度入学者）

教科				1学年										2学年										3学年									
				進学					就労コース					進学					就労コース					進学					就労コース				
				理系		文系								理系		文系								理系		文系							
				筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース		筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース		筑波技術大学 産業情報コース		筑波技術大学 デザインコース			県内私大 専門学校コース										
週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数	週時数	年時数										
国語	現代の国語	2		2	70	2	70	3	105	3	105					2	70	2	70			2	70	2	70								
	言語文化	2		2	70	2	70	2	70	2	70					1	35	1	35			1	35	1	35								
	国語表現	4										3	105	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70								
	文学国語	4										2	70	2	70					2	70	2	70										
	論理国語	4																															
地理歴史	地理総合	2		2	70	2	70								2	70	2	70															
	歴史総合	2										2	70	2	70							2	70	2	70								
	地理探究	3																		3	105												
	日本史探究	3																															
	世界史探究	3																															
公民	公共	2	原1～2年 履修	2	70	2	70	3	105	3	105																						
	倫理	2												2	70																		
	政治・経済	2												2	70																		
数学	数学Ⅰ	3	2まで減可	4	140	4	140	3	105	3	105					3	105	3	105														
	数学Ⅱ	4									6	210																					
	数学A	2		2	70								1	35						1	35	3	105	3	105								
	数学B	2																4	140														
	数学C	2																4	140														
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」※を付した科目(計2科目)又は※を付した科目を3科目	2	70	2	70	2	70	2	70																						
	化学基礎	2													2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70							
	生物基礎	2													2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70							
保健体育	体育	7～8		2	70	2	70	2	70	2	70	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105								
	保健	2		1	35	1	35	1	35	1	35					1	35	1	35	1	35	1	35	1	35								
芸術	美術Ⅰ	2		2	70	4	140	2	70	2	70																						
	美術Ⅱ	2											4	140	2	70	2	70															
	美術Ⅲ	2																	4	140													
英語	英語コミュニケーションⅠ	3	2まで減可	3	105	3	105	3	105	3	105																						
	英語コミュニケーションⅡ	4									4	140	4	140	2	70	2	70				2	70	2	70								
	英語コミュニケーションⅢ	4																4	140	4	140												
	論理・表現Ⅰ	2		2	70	2	70																										
家庭	家庭総合	4									2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70									
情報	情報Ⅰ	2				1	35	1	35	1	35	2	70			1	35	1	35	2	70	2	70	1	35								
学校設定	産業社会と人間			1	35	1	35	5	175	5	175	1	35	1	35	5	175	5	175	1	35	1	35	6	210								
	小計			27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945	27	945								
	特活・HR	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35								
	自立活動	2		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35								
	総合的な探究の時間	1		1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35								
				30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050	30	1050								

様式7 高等部普通科（Ⅱ）課程

② 標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各学科に共通する各教科	国語	105	3	105	3	105	3	
	社会	35	1	35	1	35	1	
	数学	70	2	70	2	70	2	
	理科	35	1	35	1	35	1	
	音楽	35	1	35	1	35	1	
	美術	70	2	70	2	70	2	
	保健体育	105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業	350	10	350	10	350	10	
	家庭	35	1	35	1	35	1	
	外国語	35	1	35	1	35	1	
	情報	35	1	35	1	35	1	
	学校設定教科	0		0		0		
	0		0		0			
	0		0		0			
共通教科・科目時数小計		910	26	910	26	910	26	
道徳科		35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間		35	1	35	1	35	1	
特別活動	ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動		35	1	35	1	35	1	
その他小計		140	4	140	4	140	4	
合計		1050	30	1050	30	1050	30	

## 8 使用教科書一覧

小学部(Ⅰ課程)

### (1)教科書

教科名等	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年	
	番号	略称				
国語	38	光村	113・114	こくご一上下 かざぐるま ともだち	1	
	38	光村	213・214	こくご二上下 たんぼぼ 赤とんぼ	2	
	38	光村	313・314	国語三上下 わかば あおぞら	3	
	38	光村	413・414	国語四上下 かがやき はばたき	4	
	38	光村	513	国語五 銀河	5	
	38	光村	613	国語六 創造	6	
社会	2	東書	305	新編 新しい社会3	3	
	2	東書	405	新編 新しい社会4	4	
	2	東書	505・506	新編 新しい社会5上・下	5	
	2	東書	605	新編 新しい社会6政治・国際編	6	
	2	東書	606	新編 新しい社会6歴史編	6	
算数	61	啓林館	120・121	わくわく さんすう1	1	
	61	啓林館	220・221	わくわく 算数2上下	2	
	61	啓林館	320・321	わくわく 算数3上下	3	
	61	啓林館	420・421	わくわく 算数4上下	4	
	61	啓林館	520	わくわく 算数5	5	
	61	啓林館	620	わくわく 算数6	6	
理科	2	東書	307	新編 新しい理科3	3	
	2	東書	407	新編 新しい理科4	4	
	2	東書	507	新編 新しい理科5	5	
	2	東書	607	新編 新しい理科6	6	
生活	17	教出	123・124	せいかつ上下 みんななかよし	1～2	
音楽	17	教出	103	小学音楽 おんがくのおくりもの1	1	
	27	教芸	203	小学校の音楽2	2	
	17	教出	303	小学音楽 音楽のおくりもの3	3	
	27	教芸	403	小学校の音楽4	4	
	17	教出	503	小学音楽 音楽のおくりもの5	5	
	27	教芸	603	小学校の音楽6	6	
図画工作	116	日文	107	ずがこうさく1・2上 まるごと たのしもう	1	
	116	日文	108	ずがこうさく1・2下 まるごと たのしもう	2	
	116	日文	307	図画工作3・4上 ためす 見つける	3	
	116	日文	308	図画工作3・4下 ためす 見つける	4	
	116	日文	507	図画工作5・6上 わたしとひびき合う	5	
	116	日文	508	図画工作5・6下 わたしとひびき合う	6	
家庭	2	東書	503	新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる	5～6	
体育	50	大修館	308	新編 新しいほけん 3・4	3～4	
	50	大修館	508	新編 新しい保健 5・6	5～6	
外国語	英語	9	開隆堂	511	Junior Sunshine 5	5
		9	開隆堂	512	Junior Sunshine 5 Word Book	5
		9	開隆堂	611	Junior Sunshine 6	6
		9	開隆堂	612	Junior Sunshine 6 Word Book	6
道徳		208	光文	117	新編 あたらしい どうとく 1	1
		208	光文	217	新編 新しい どうとく 2	2
		208	光文	317	新編 新しい どうとく 3	3
		208	光文	417	新編 新しい どうとく 4	4
		208	光文	517	新編 新しい 道徳 5	5
		208	光文	617	新編 新しい 道徳 6	6
外国語活動			文科	Let's Try! 1	3	
			文科	Let's Try! 2	4	
国語	特別支援 学校 小学部 聴覚 障害者用	17	教出	B-121	こくご ことばのべんきょう一ねん	1
		17	教出	B-221	こくご ことばのべんきょう二ねん	2
		17	教出	B-321	こくご ことばのべんきょう三ねん	3
		17	教出	B-421	国語ことばのれんしゅう四年	4
		17	教出	B-521	国語ことばの練習五年	5
		17	教出	B-621	国語ことばの練習六年	6
社会	書写	38	光村	書写	1～6	
	地図	46	帝国	304	小学生の地図帳3・4・5・6年	3～6

(1)教科書

教科名等	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
	番号	略称			
国語	2	東書	C-121	こくご☆	1
	2	東書	C-122	こくご☆☆	3・4・5・6
	08-2	グランまま	006	ことばえほん	1
算数	20-5	同成社	C03	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6~9のたし算、ひき算、位取り)	3
	17	教出	C-121	さんすう☆	1
	17	教出	C-122	さんすう☆☆(1)	4・5・6
	17	教出	C-123	さんすう☆☆(2)	4・5・6
音楽	27-3	ひさかた チャイルド	C05	スキンシップ絵本 かずのえほん	1
	2	東書	C-121	おんがく☆	1
図画工作	61-15	サーベル社	503	おんぷのおえかきワーク・ブック3えかきうたつき	3・4・5・6
	28-3	ブロンズ新社	501	らくがき絵本PART2五味太郎25%	3・4・5・6
保体	06-2	学研	001	あそびのおうさまBOOKぬって	1
	07-2	金の星社	J04	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの?	3・4・5・6
英語	07-2	金の星社	569	ABCの絵本	3・4・5・6
道徳	71-1	永岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモンスターきもちはなにいろ?	1
	62-4	少年写真新聞社	527	きもち	3・4・5・6

中学部(Ⅰ課程)

(1)教科書

教科名等	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年	
	番号	略称				
国語	015	三省堂	72	現代の国語1	1	
	015	三省堂	82	現代の国語2	2	
	015	三省堂	92	現代の国語3	3	
	015	三省堂	72	新しい書写一・二・三年	1, 2, 3	
	特別支援学校 中学部 聴覚 障害者用	17	教出	国語B-721	国語 言語編	1, 2, 3
社会	046	帝国	72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1, 2	
	046	帝国	72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	1, 2	
	046	帝国	92	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	3	
	046	帝国	72	中学校社会科地図	1, 2	
数学	002	東書	72	新しい数学1	1	
	002	東書	82	新しい数学2	2	
	002	東書	92	新しい数学3	3	
理科	002	東書	72	新しい科学1	1	
	002	東書	82	新しい科学2	2	
	002	東書	92	新しい科学3	3	
音楽	027	教芸	72	中学生の音楽1	1	
	027	教芸	83	中学生の音楽2・3上	2, 3	
	027	教芸	84	中学生の音楽2・3下	2, 3	
	027	教芸	72	中学生の器楽	1, 2, 3	
美術	038	光村	72	美術1	1	
	038	光村	82	美術2・3	2, 3	
保健体育	002	東書	72	新しい保健体育	1, 2, 3	
技術・家庭	技術分野	009	開隆堂	72	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	1, 2, 3
	家庭分野	002	東書	72	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	1, 2, 3
外国語	英語	038	光村	72	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	1
		038	光村	82	Here We Go! ENGLISH COURSE 2	2
		038	光村	92	Here We Go! ENGLISH COURSE 3	3
道徳		116	日文	73	中学道徳 あすを生きる 1	1
		116	日文	83	中学道徳 あすを生きる 2	2
		116	日文	93	中学道徳 あすを生きる 3	3

中学部(Ⅱ課程)

(1)教科書

教科名等	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
	番号	略称			
国語	2	東書	C123	こくご ☆☆☆	1・2
理科	12-2	小学館	797	小学館の図鑑NEO [新版]科学の実験DVDつき	1・2
	27-1	ひかりのくに	101	改訂新盤体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん	2
美術	06-2	Gakken	002	あそびのおうさまBOOK はって	1
	28-3	ブロンズ新社	556	らくがき絵本 五味太郎50%	1・2
	10-10	コクヨ	A01	かおノート	2
外国語	08-1	くもん出版	779	CD付き子どもとたのしむはじめてのえいごえほん にほんのおはなし1	1・2
社会	11-4	三省堂	540	子どもマナーとけいご絵じてん小型版	1・2
	06-1	偕成社	617	木村裕一・しかけ絵本(12) げんきにごあいさつ	1・2
家庭	62-56	JTB	515	るるぶkids 何になりたい?未来をみつけるおしごと大図鑑	1
	12-2	小学館	840	小学館の図鑑NEO まどあけずかんたべもの	1
	28-1	福音館書店	647	福音館の単行本 かがみのえほんきょうのおやつは	2
道徳	62-4	少年写真新聞社	527	きもち	1
	71-1	永岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモンスターきもちはなにいろ?	1・2
	06-1	偕成社	617	ありがとうのえほん	2
音楽	55-12	音楽センター	527	手話でうたうこどものベスト	1・2
	14-4	成美堂出版	550	音と光のでる絵本 いっぱいスイッチ	2

高等部 普通科(Ⅰ課程)

(1)教科書

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
国語	現代の国語	183	第一	現国 716	高等学校 新編現代の国語	2
	現代の国語	50	大修館	現国 050-902	新編 現代の国語	1
	言語文化	50	大修館	現文 050-902	新編 言語文化	1
	言語文化	183	第一	現国 716	高等学校 新編言語文化	2
	国語表現	50	大修館	国表 701	国語表現	2
地理	地理総合	46	帝国	地総 046-902	高校生の地理総合	2
公民	公共	104	数研	公共 104-902	新改訂版 高等学校 公共 これからの社会について考える	1
数学	数学Ⅰ	7	第一	数Ⅰ 718	新編数学Ⅰ	2
	数学Ⅰ	104	数研	数Ⅰ 104-906	改訂版 新 高校の数学Ⅰ	1
理科	科学と人間生活	2	東書	科人 002-901	改定 科学と人間生活	1
	生物基礎	2	東書	生基 002-902	改定 新編生物基礎	2
保健体育	保健	50	大修館	保体 701	現代高等保健体育	1・2
芸術	美術Ⅰ	116	日文	美Ⅰ 116-901	新高校生の美術1	1
	美術Ⅱ	116	日文	美Ⅱ 702	高校生の美術2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	9	開隆堂	CⅠ 009-901	Revised Amity English CommunicationⅠ	1
外国語	英語コミュニケーションⅡ		開隆堂	CⅠ 704	Amity English CommunicationⅡ	2
家庭	家庭総合	183	第一	家総 183-901	持続可能な未来をつくる	2
情報	情報Ⅰ	7	実教	情Ⅰ 007-904	図説情報Ⅰ新訂版	1
	情報Ⅰ	2	東書	情Ⅰ 701	新編情報Ⅰ	2

(2)準教科書、副読本

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
数学	数学Ⅰ	7	実教	数Ⅰ 719	新編数学Ⅰサポートブック	1・2
保健体育	保健	50	大修館	保体 050-901	現代高等保健体育ノート 改訂版	2

(1)教科書

高等部Ⅱ課程

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
道徳	道徳	9	開隆堂		私たちの未来 未来の私たち	1・2

# 【日課表】

3歳児

曜日 時刻	月		火		水		木		金	
	登 校									
9:00	朝の活動	個別指導	朝の活動	個別指導	朝の活動	個別指導	朝の活動	個別指導	朝の活動	個別指導
9:30	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導
10:00	朝の会		朝の会		朝の会		朝の会		朝の会	
	話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動	
10:50	休み時間(トイレタイム・水分補給・移動時間)									
11:00	リズム遊び (全体)		運動遊び (全体)		行事・ 設定遊び (全体)		造形遊び (全体)		学級活動	
11:50	給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食	
13:00	片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 帰りの会		片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 帰りの会	
13:30	帰りの会		帰りの会		下校 (13:30)		帰りの会		下校 (13:30)	
14:00	下校 (14:00)						下校 (14:00)			

4・5歳児

曜日 時刻	月		火		水		木		金	
	登 校									
9:00	朝の活動	個別	朝の活動	個別	朝の活動	個別	朝の活動	個別	朝の活動	個別
9:30	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導	補聴器等確認	指導
10:00	朝の会		朝の会		朝の会		朝の会		朝の会	
	話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動		話し合い活動	
10:50	休み時間(トイレタイム・水分補給・移動時間)									
11:00	リズム遊び (全体)		運動遊び (全体)		行事・ 設定遊び (全体)		造形遊び (全体)		学級活動	
11:50	給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食		給食の準備 メニューの確認 給食	
13:00	片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 帰りの会		片付け・歯磨き 自由遊び		片付け・歯磨き 帰りの会	
13:30	帰りの会		帰りの会		下 校 (13:30)		帰りの会		下 校 (13:30)	
14:00	個別指導		個別指導				個別指導			
14:30	下 校		下 校				下 校			

[小学部]

校時	時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特別日課
職員朝会 朝の活動		職員朝会 学部朝会	学部朝会	学級活動	学部朝会 (幼小合同)	学級活動	職員朝会
		8:30~8:40					
朝の会		8:40~8:50					
1校時	8:50~9:35	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
2校時	9:45~10:30	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
3校時	10:50~11:35	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
4校時	11:45~12:30	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
給食	12:30~13:05	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年
清掃等	13:05~13:25	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	
5校時	13:25~14:10	全学年	全学年	全学年	全学年	全学年	
6校時	14:15~15:00	3~6年	4~6年	3~6年	2~6年		
帰りの会	1年生	14:10~ 14:20	14:10~ 14:20	14:10~ 14:20	14:10~20	14:10~ 14:20	①11:40~ 11:50 ②13:20~ 13:30
	2年生						
	3年生	15:00~ 15:10		15:00~ 15:10	15:00~ 15:10		
	4~6年生	15:00~ 15:10		15:00~ 15:10			
下校 スクール バス 出発時間	1年生	14:25	14:25	14:25	14:25	14:25	①12:00 ②13:40 給食あり
	2年生						
	3年生	15:15		15:15	15:15		
	4~6年生				15:15		

## [中学部]

週（ 29 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:30						
SHR	8:40 ~ 8:50	10					
1校時	8:50 ~ 9:40	50	1	7	13	19	25
2校時	9:45 ~ 10:35	50	2	8	14	20	26
3校時	10:45 ~ 11:35	50	3	9	15	21	27
4校時	11:40 ~ 12:30	50	4	10	16	22	28
給食	12:30 ~ 13:20	50					
5校時	13:20 ~ 14:10	50	5	11	17	23	29
6校時	14:15 ~ 15:05	50	6	12	18	24	
SHR	15:05 ~ 15:15	10					
下校	15:15						14:25
備考:							

## [高等部]

週（ 30 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:30						
SHR	8:40 ~ 8:50	10					
1校時	8:50 ~ 9:40	50	1	7	13	19	25
2校時	9:45 ~ 10:35	50	2	8	14	20	26
3校時	10:45 ~ 11:35	50	3	9	15	21	27
4校時	11:40 ~ 12:30	50	4	10	16	22	28
給食	12:30 ~ 13:20	50					
5校時	13:20 ~ 14:10	50	5	11	17	23	29
6校時	14:15 ~ 15:05	50	6	12	18	24	30
SHR	15:05 ~ 15:15	10					
下校	15:15						
備考: 朝の活動（8:30~8:40）朝の自習、読書など 生徒会活動（8:30~							

## 10 寄宿舎運営

### (1) 寄宿舎教育目標

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、社会自立できる児童生徒
- ② 規律を守り、楽しく生活のできる児童生徒
- ③ 健康で安全な生活のできる児童生徒
- ④ 自学自習のできる児童生徒
- ⑤ 仲間を思いやり、協力する児童生徒

### (2) 寄宿舎の児童生徒数

学部	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
男子	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	3
女子	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	2	5
合計	0	0	2	0	0	0	2	1	1	0	2	2	2	0	4	8

### (3) 児童生徒出身別

南風原町・2名 那覇市・3名 沖縄市・1名 嘉手納町・1名 北谷町・1名

### (4) 日課表

日課	時間
起床	6:30(日直 6:15)
着替え・洗面	6:30~6:50
朝の清掃	6:50~7:20
朝食	7:30~8:00
健康観察・登校準備	8:00~8:20
登校	8:20
~授業(小・中・高)~	
自由時間(入浴)	下校後~17:45
夕食	18:00~18:30
夕べの集い	18:30~18:40
清掃・歯磨き	18:40~19:00
学習時間	19:00~20:00
日課・自由時間	20:00~22:00 (小学部は 21:00 就寝)
消灯	22:00

### (5) 年間行事表

学期	行事
1学期	・入舎式・親睦会
	・舎友会総会・避難訓練
	・誕生会・体験入舎(前期)
	・BBQ会・学期末の大清掃
2学期	・不審者対策訓練
	・誕生会・体験入舎(後期)
	・寄宿舎まつり・校外学習
	・年忘れ会・年末の大清掃
3学期	・新年会・誕生会
	・舎友会総会
	・分散会、高3生を送る会
	・学年末の大清掃
※定例清掃、歯の染め出し(毎月1回) 【その他】生と性の学習会 係会 部屋会 トライアルライフ(自立の部屋) リモート交流会(県外寄宿舎)	

### (6) 寄宿舎部屋割

室	男	女	計
1室	3	0	3
6室	0	2	2
7室	0	3	3
合計	3	5	8

## 11 幼児児童生徒数

様式1

教育部門	学級種別	性別	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計	
			3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年		計
聴覚障害	一般	男	4	1	1	6	4	4	2			2	12	1	1		2		1		1	21
		女	2	6	2	10		1	1	1		1	4			1	1	1			1	16
	計	6	7	3	16	4	5	3	1	0	3	16	1	1	1	3	1	1	0	2	37	
	重複障害	男					2		1			3				0					0	3
		女								1	1	3	1	2		3	1	2			3	9
	計					2	0	1	1	1	6	1	2	0	3	1	2	0		3	12	
	訪問	男														0					0	0
		女														0					0	0
	計														0					0	0	
	計	男	4	1	1	6	6	4	3	0	0	2	15	1	1	0	2	0	1	0	0	1
女		2	6	2	10	0	1	1	2	1	2	7	1	2	1	4	2	2	0	4	25	
合計		6	7	3	16	6	5	4	2	1	4	22	2	3	1	6	2	3	0	5	49	

## 12 市町村別幼児児童生徒数

様式2

教育部門	市町村	幼稚部				小学部						中学部				高等部				合計	
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年		計
聴覚障害	名護市				0						0				0				0	0	
	恩納村				0						0				0				0	0	
	嘉手納町		1		1						0		1		1				0	2	
	読谷村				0						0				0				0	0	
	うるま市				0	1		1		1	4			1	1		1		1	6	
	沖縄市	1	1	1	3	1	2	1			5	1	2		3				0	11	
	北谷町		1		1					1	1	1			1				0	3	
	北中城村			1	1	1					1				0				0	2	
	中城村				0		1				1				0				0	1	
	西原町				0		1				1				0				0	1	
	宜野湾市		1		1		1			1	3				0				0	4	
	浦添市	1		1	2	2		1			3				0				0	5	
	那覇市	3	1		4	1		2			3				0	2			2	9	
	南城市				0						0				0				0	0	
	豊見城市		1		1						0				0				0	1	
	南風原町		1		1						0				0		2		2	3	
	八重瀬町				0						0				0				0	0	
糸満市	1			1						0				0				0	1		
計		6	7	3	16	6	5	4	2	1	4	22	2	3	1	6	2	3	0	5	49

## 13 聴力の程度

(1) 裸耳聴力：左右の聴力できこえの良い方を聴力レベルとした

dB 学部	10 ~19	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80 ~89	90 ~99	100 以上	測定 困難	未 測定	合 計
幼稚部							2	6	3	5			16
小学部				1	1	2	2	1	5	10			22
中学部						1			2	3			6
高等部										5			5
合 計				1	1	3	4	7	10	23	0	0	49

(2) 装用時聴力：左右の聴力できこえの良い方を聴力レベルとした

dB 学部	10 ~19	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80 ~89	90 ~99	100 以上	測定 困難	未 測定	合 計
幼稚部			8	4	2	1			1				16
小学部		6	7	3	1				1	3		1	22
中学部		2	2		1		1						6
高等部		2		1	2								5
合 計		10	17	8	6	1	1	0	2	3		1	49

## 14 令和8年度 疾病障害統計

疾病障害名		学部		幼稚部		小学部		中学部		高等部		全 体			
		性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	百分率
		在籍		6	10	15	7	2	4	1	4	24	25	49	%
染色体・DNA	ダウン症候群(21トリソミー)					1				1	0	2	2	4.1%	
	その他染色体異常					2		1			0	3	3	6.1%	
奇形	その他の奇形症候群		1	1	1						2	1	3	6.1%	
脳・神経	頭蓋骨	その他の頭蓋骨疾患									0	0	0	0.0%	
	脳	脳性まひ					1				0	1	1	2.0%	
		脳原性運動機能障害				1	1				1	1	2	4.1%	
		てんかん						1			1	0	1	2.0%	
		髄膜炎後遺症									0	0	0	0.0%	
		その他の脳疾患			1		1				0	2	2	4.1%	
精神及び行動障害	精神	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群				1				1	0	1	2.0%		
		知的障害				1	3	1	1		3	2	7	9	18.4%
	発達障害	その他の発達障害						1	1		1	1	2	4.1%	
循環器	心臓	心房・心室中隔欠損症(術後含む)		1	2	2	1				2	3	5	8	16.3%
		その他の心疾患		1		1						2	0	2	4.1%
呼吸器	その他の呼吸器系疾患			2		1					0	3	3	6.1%	
内分泌・代謝	甲状腺機能低下症			1	2						2	1	3	6.1%	
腎・泌尿器	その他の腎・泌尿器疾患		1	1		1					1	2	3	6.1%	
アレルギー・膠原病・免疫不全	アレルギー疾患	気管支喘息				1		1			2	0	2	4.1%	
		アレルギー性結膜炎						1			1	0	1	2.0%	
		アレルギー性鼻炎						1			1	0	1	2.0%	
		食物アレルギー				1				1		2	0	2	4.1%
		薬物アレルギー										0	0	0	0.0%
眼	視力障害・視覚障害(盲)			1			1			2	1	3	4	8.2%	
耳鼻咽喉	聴覚障害・難聴・(聾・人工鼓膜)		6	10	15	7	2	4	1	4	24	25	49	100.0%	
	その他の耳鼻咽喉系疾患		1	2	2	2				1	3	5	8	16.3%	

15 学級編成

(1) 幼稚部

項目	幼児数			学級数
	年齢・組	男	女	
3歳児	4	2	6	1
4歳児	1	6	7	2
5歳児	1	2	3	1
合計	6	10	16	4

乳幼児教育 相談教室	南城市	豊見城市	那覇市	宜野湾市	西原町	北中城村
	沖縄市	北谷町	浦添市	うるま市	糸満市	南風原町
	恩納村	名護市	読谷村	宮古島市	久米島	

(2) 小学部

項目	児童数			学級種	学級数
	年齢・組	男	女		
1年1組	4	0	4	一般	1
2年1組	4	1	5		1
3年1組	2	1	3		1
4年1組	0	1	1		1
6年1組	2	1	3		1
1年2組	2	0	2	重複	2
3.4.5.6年2組	1	3	4		
合計	15	7	22		7

通級指導 教室	①中1 (男) 沖縄市立美東中学校
	②小5 (女) 沖縄市立北美小学校
	③小4 (男) うるま市立伊波小学校
	④小3 (女) うるま市立あげな小学校

(3) 中学部

項目	生徒数			学級種	学級数
	年齢・組	男	女		
1年1組	1	0	1	一般	1
2年1組	1	0	1		1
3年1組	0	1	1		1
2年2組 (複式)	0	3	3	重複	1
合計	1	4	6		4

## (4) 高等部

項目	生徒数			学級種	学級数
	男	女	計		
1年1組	0	1	1	一般	1
2年1組	1	0	1		1
1年2組	0	1	1	重複	1
2年2組	0	2	2		
合計	1	4	5		3

## 16 進路状況

中学部	卒業者数			本校 高等部	普通 高校	その他	備考
	男	女	計				
	0	2	2				
高等部	卒業者数			進学	一般 就労	福祉 就労	1名：就労移行ITスクールおきなわ 1名：コープ沖縄サービス
	男	女	計				
	2	0	2				



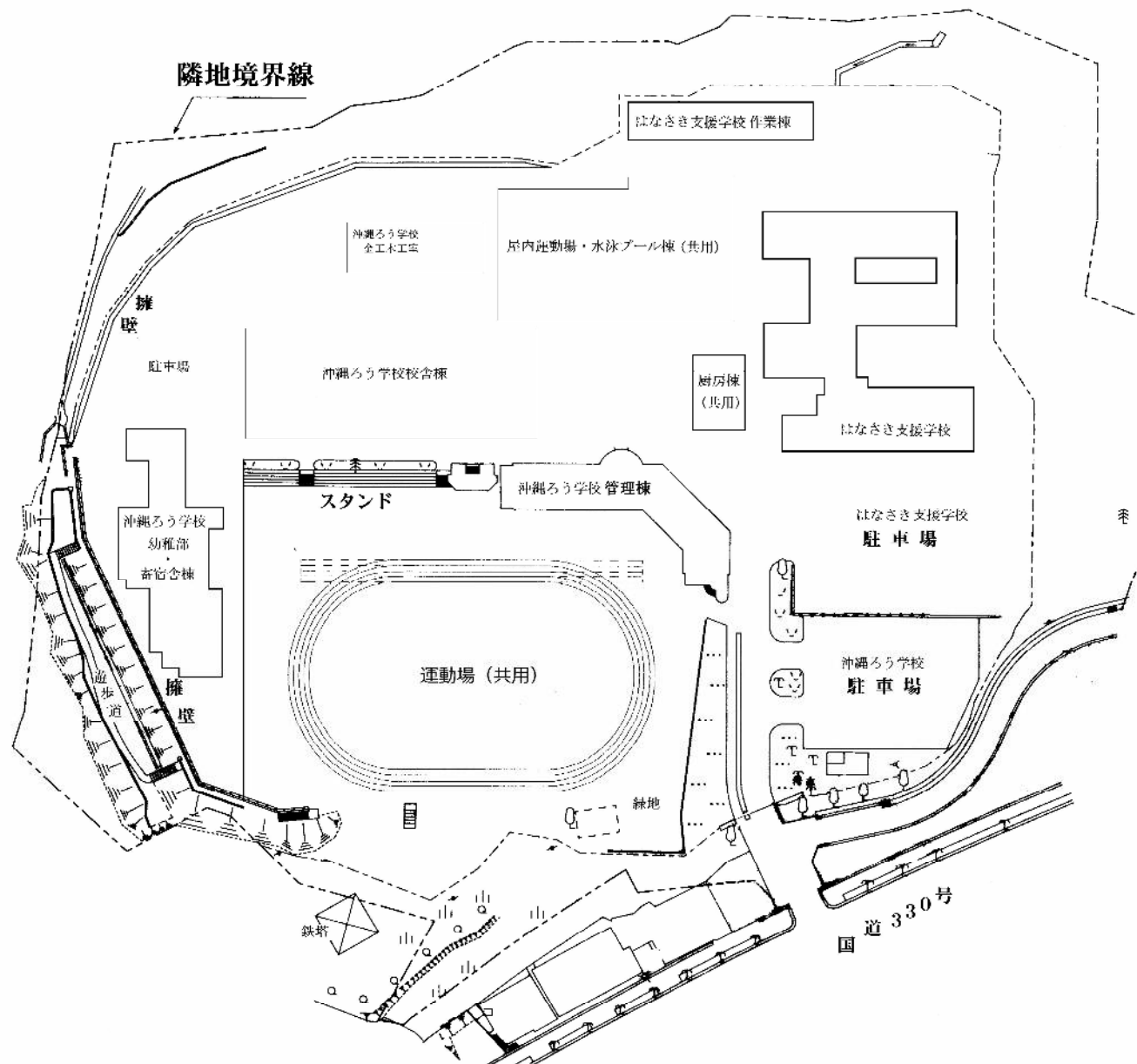


## 18 校舎配置図

校地	35,065.00㎡
管理棟	1,053.92㎡
幼稚部寄宿舍棟	1,566.83㎡
校舎棟	3,030.00㎡
屋内運動場・プール	1,269.57㎡
金工木工室	207.00㎡
厨房棟	280.40㎡
運動場	6,015.85㎡

※校地面積

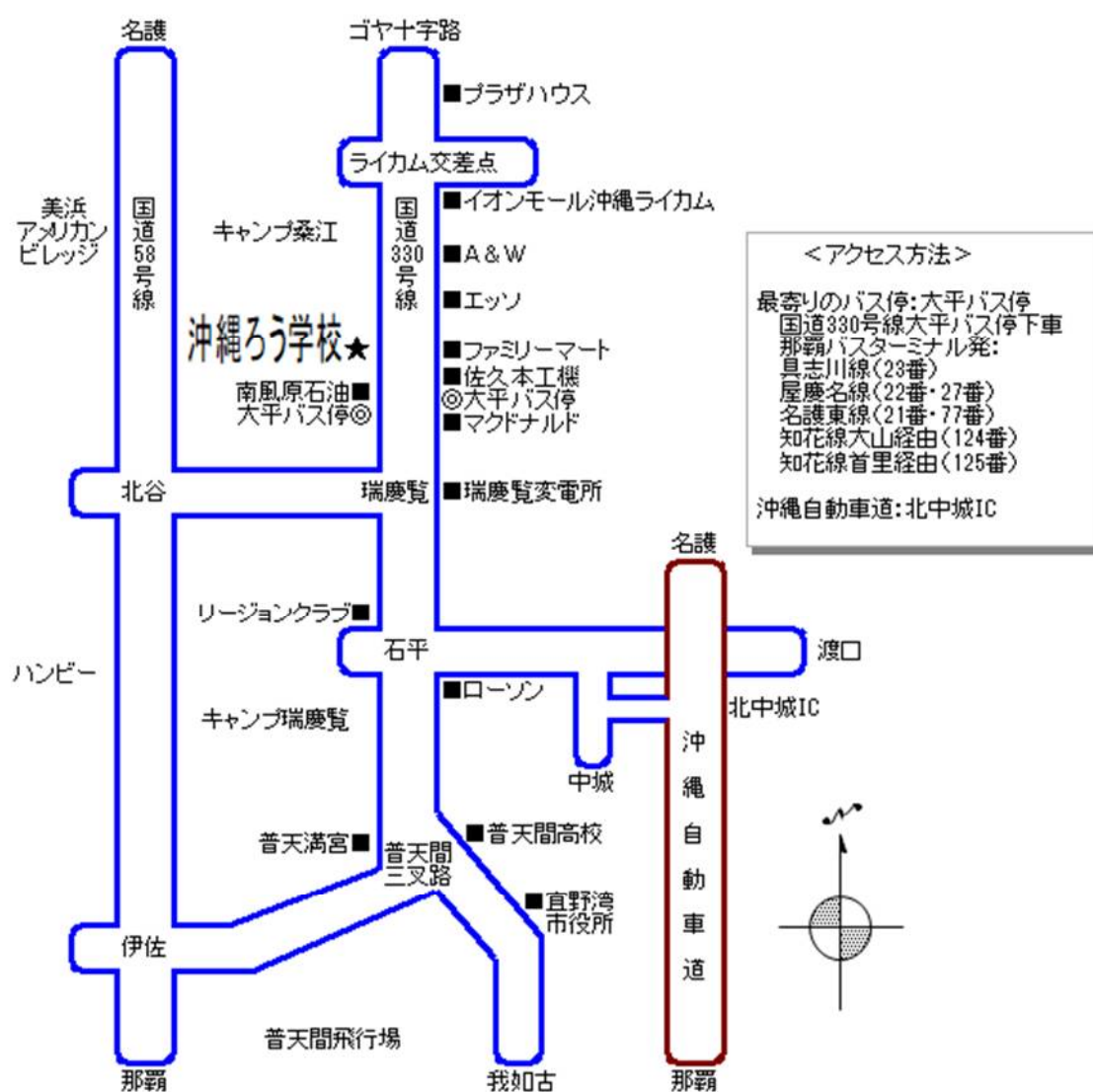
全面積	35,065.00㎡
県有地	8,162.00㎡
借地	26,903.00㎡



## 19 学校案内図

# 沖縄ろう学校マップ

〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村屋宜原415番地  
 TEL (098) 932-5475  
 FAX (098) 932-8248  
 E-mail school@okiro-sh.open.ne.jp



**<アクセス方法>**

最寄りのバス停: 大平バス停  
 国道330号線大平バス停下車  
 那覇バスターミナル発:  
 具志川線(23番)  
 屋慶名線(22番・27番)  
 名護東線(21番・77番)  
 知花線大山経由(124番)  
 知花線首里経由(125番)

沖縄自動車道: 北中城IC

